



東京学芸大学附属高等学校

Tokyo Gakugei University Senior High School

第
12
回

授業実践研究会 【生成AI・教育学】

学校での課題を改善させる1to1

「生徒も教師もワクワクする授業づくりを…」

「大人が真剣に教育を語り合える場を…」

この2つのテーマをスローガンに、現代の教育課題を共に学んだり、その改善に向けて議論をしたり、未来の教育について考える場をつくりました。

2026年1月21日(水) 15:45～17:15

開催趣旨

生成AIは教育の現場に大きな革新をもたらすテクノロジーです。その進歩の速度は驚異的なもので、教育現場もその変化に対応しなければなりません。本校では、今年度より株式会社ソルクリエイトと協定を結び、生成AIの授業での活用方法などを共同で研究し始めた段階です。本研究会では、これまでの実践を紹介しながら、皆さまと生成AIの教育活用について考えていきたいと思います。なお、本研究会は本校の取組を紹介するために本校保護者に対しても公開致します(ただし、保護者からの発言などはありません)。予め、ご理解頂けますようお願い致します。

スケジュール

15:30～Zoomルーム立ち上げ
15:45～オンライン研究会開始
・開会式
・趣旨説明
・学校全体の動き
・生成AIを活用した授業実践
・質疑応答
・閉会式
17:15 オンライン研究会終了

本校からの実践紹介

バイブコーディングで広がる！ 生成AI×Processing授業

(情報科 飯田先生)

バイブコーディングとは、生成AIに「〇〇な機能が欲しい」と自然言語で指示を出し、コードを生成させて開発を進める手法です。Processingのプログラミングの授業に生成AIを導入して3年目になりますが、生成AIの進歩によって、過去2年に比べて変わった点と変わっていない点をお伝えします。

生成AIと探究活動

(数学科 木部先生・大淵先生)

1年生のSSH探究基礎にて、「AIと社会保障」や「AIと農業」というテーマについて生成AIとやりとりをしながら探究計画をブラッシュアップしていく授業を実施しました。実際に使用した教材を共有しながら、生徒の成果物を振り返っていきます。

生成AIで広がる公民科 パフォーマンス課題の可能性と課題 ～ジレンマを漫画で描こう～

(公民科 山北先生)

社会問題当事者たちの怒りや不安、悩みなどを捉えさせる活動として、報告者は漫画や動画に着目した。これまでは一部の生徒にしか許されなかった表現手段が、生成AIによりすべての生徒に開かれた。しかし同時に、それは新たな課題にも直面することにもなった。

参加申し込み・お問い合わせ

参加申し込みは、右のQRコードをご利用いただくか、本校HPの「研究・研修」のページから必要事項をご入力ください。



東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬4-1-5

TEL : 03-3421-5151 FAX : 03-3421-5152

HP : <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/>